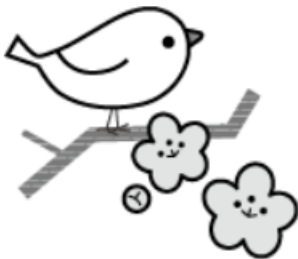




春のため うぐいす小枝で 練習中 (5年児童)



梅の花から桃の花に春のバトンが渡されました。そのバトンが桜に託される時、令和4年度が終結します。

うぐいすは春告鳥と言われますが、うぐいすに負けないぐらいかわいいかわいい春の使者がやってきました。保育園、幼稚園の年長さんで、来年入学予定の園児たちです。

1年生が迎えました。その歓迎ぶりが見事でした。1年間の学校生活を発表した後、ペアになって、名前を書いたメダルをプレゼントしたり、一緒に絵を描いたり、ランドセルを背負わせたり、トイレに連れていったり…。かいがいしくお世話をしました。その後は、クイズや歌のプレゼントなど。とても素敵なお兄ちゃん、お姉ちゃんでした。

最初は緊張していた園児さんも、笑顔でいっぱいになりました。そして、1年生のことを「かっこよかった。」「やさしくてびっくりした。」とってくれました。



お世話をした1年生の感想です。

「お世話をしてもらうより、お世話をする方が楽しかった。」



どこかで聞いたような。そうそう、2年生が1年生を「おもちゃランド」に招待した時に聞いた言葉です。お世話をされた喜びを知っているの、喜びが二倍になっているのでしょう。

新入生の不安を一番わかっているのは、昨年の新入生である現1年生。その不安を少しでも和らげようと、一生懸命園児に語りかけている姿を見て成長したなあと、しみじみ感じました。

2年生にしてもらったことを次の1年生にしてあげる。次の1年生も同じことをしてくれることでしょう。正の連鎖。学校は「恩送り」ができる教育の場です。

最後に「みんなが、入学してきたら、私たち2年生がしっかりお世話をします。」との力強い言葉でしめくくりました。心も態度もすっかり2年生でした。

しっかり、お世話しているところ、見たいなあ。

下級生 6年生を 見て育ち

6年生のバトン 受け継ぐ (本校6年児童)

正の連鎖のトップにいるのが6年生。成長した1年生に学校の楽しさやルールを教えたのは6年生です。

16日は卒業証書授与式。朝になると6年生の教室から統制のとれた声が聞こえます。歌声、呼びかけ、そして気合の入った返事。残り少ない日々を惜しむかのように、校舎に響き渡っています。最後の3年間は、コロナ禍、校舎改築工事で我慢続きでした。しかし、不平を言わず、一生懸命日野小を守り、歴史のバトンを受け継いできました。

6年生は、新校舎で生活することはできませんが、この校舎を「学び舎」にしてくれました。三月は、この学び舎が、送別ムード一色になります。在校生が、お世話になった6年生を様々な形で感謝の気持ちを伝えます。

いい別れはいい出会いを呼びます。これを繰り返しながら、みんな成長していきます。成長をかみしめる三月です。

3月の主な行事予定

1日(水) 日野幼稚園来校
2日(木) 日野保育園来校
3日(金) お別れ集会
9日(木) 卒業式予行練習
後期継承式
15日(水) 1~4年、6年給食後下校
5年生5校時後下校
16日(木) 卒業証書授与式
1~5年見送り

(21日(火) 春分の日)
24日(金) 修了式、離任式、見送り
25日(土)~4月6日(木) 春休み

【令和5年度】
4月7日(金) 1学期始業式・着任式
4月11日(火) 入学式

- 「新型コロナウイルス」の感染レベルは1になりましたが、まだ完全な状態ではありません。実態に応じた感染対策をお願いします。
- ・引き続き、毎日の健康観察をお願いします。
 - ・これまで同様、本人が新型コロナ感染症罹患及び濃厚接触者になった場合は登校停止です。その他、本人が体調不良の場合は、登校を見合わせてください。
 - ・御家族が体調不良の場合、本人は絶対に登校してはならないわけではありませんが、御家族の体調や接触状況などをもとに、登校を見合わせることも検討してください。